



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-AA-22001C

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

<https://ecoleaf-label.jp>

LibWork

株式会社 Lib Work Lib Work 木造戸建てモデル住宅

Lib Work Co.,Ltd

Lib Work Wooden separate model house



#### 算定単位

建築物 1棟 耐用年数60年あたり

#### 算定対象段階

■最終財 □中間財

資材製造段階、施工段階、修繕・改修段階、  
廃棄・リサイクル段階

#### 製品の型式、主要仕様・諸元

用途：戸建て住宅

建築面積：73.18㎡ 延べ床面積：111.58㎡

階数：地上2階

構造：木造軸組工法

#### 問い合わせ先

株式会社 Lib Work (<https://www.libwork.co.jp/>)

山鹿本社

熊本県山鹿市鍋田178-1 TEL:0968-44-3559

#### 登録番号

JR-AA-22001C

#### 適用PCR番号

PA-241000-AA-04

#### PCR名

建築物（躯体および仕上げ材）

#### 公開日

2022年12月9日

#### 検証合格日

2022年11月29日

#### 検証方式

個品別検証方式

#### 検証番号

JV-AA-22001

#### 検証有効期間

2027年11月28日

#### PCRレビューの実施

認定日等 2022年 6月 27日

委員長 神崎 昌之

(一般社団法人サステナブル経営推進機構)

#### 第三者検証者\*

外部検証員 内田 裕之

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部

外部

\*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：JR-AA-22001C



① CFP算定結果

算定単位 建築物 1棟 耐用年数60年あたり

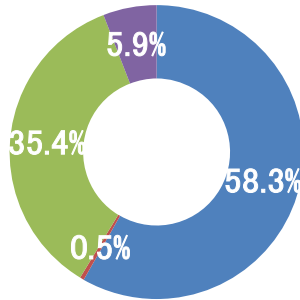
| 項目             |           | 数値               | 単位                        |
|----------------|-----------|------------------|---------------------------|
| <b>CFP算定結果</b> |           | <b>74</b>        | <b>t-CO<sub>2</sub>eq</b> |
| 内訳             | ①資材製造     | 43               | t-CO <sub>2</sub> eq      |
|                | ②施工       | 0.34             | t-CO <sub>2</sub> eq      |
|                | ③修繕・改修    | 26               | t-CO <sub>2</sub> eq      |
|                | ④廃棄・リサイクル | 4.4              | t-CO <sub>2</sub> eq      |
| <b>数値表示</b>    |           | <b>0.66</b>      | <b>t-CO<sub>2</sub>eq</b> |
| <b>表示単位：</b>   |           | 床面積1㎡・耐用年数60年あたり |                           |

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③ その他の環境関連情報

|    |
|----|
| なし |
|----|

② 算定結果に関する追加情報



- ①資材製造
- ②施工
- ③修繕・改修
- ④廃棄・リサイクル

設計情報に基づいた算定結果ですが、外構および設備工事、建築物運用段階は調査範囲に含まれていません。また、当該物件の杭工事につきましては、発生土の出ないエコジオ工法を採用しているため、汚泥処理については計上していません。廃棄・リサイクル段階につきましては、調査による再利用率を参考に、再利用されるものと廃棄されるものに分けて算定しております。

④ CFP算定結果の解釈

資材製造段階及び改修・修繕段階におけるGHG排出量が高い寄与率（全LCに対する寄与率：資材製造段階58.3%、修繕・改修段階35.4%）を示しました。資材製造段階においては、基礎の生コンや外壁サイディング、住宅設備（システムキッチン・システムバス）、資材の輸送（陸運）が特に大きく寄与（段階別寄与率：合計55.1%）しており、将来的にCO2を吸収するコンクリートの使用等GHG排出量の少ない資材の使用や、施工場所と同県内で生産された素材の使用による輸送距離の短縮により、排出量の削減が見込めると考えられます。また修繕・改修段階においても大きな寄与率（段階別寄与率：合計25.2%）を認めており、資材の長寿命化を図ることにより、GHG排出量を削減できると考えられます。

以上の結果について、建築資材の投入量および施工時のエネルギー投入量については当社データを用いていますが、建築資材製造時等のGHG排出量は一般的なデータを用いているため、実際のGHG排出量とは異なる場合があります。そのため、この数値は概算値としてご理解ください。

⑤ 使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。

⑥ 備考

—

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。  
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。